



国の医療政策は、私たちの命と健康を守ってくれるのでしょうか。私たちの住むまちの病院と医療を守るにはどうしたらいいのでしょうか。

# 学習会のお知らせ

「私たちの街から病院がなくなる」——昨年6月、衝撃が上越地域全体を駆け巡りました。上越地域医療構想調整会議で、新潟労災病院の閉院計画が発表されたためです。

どうして地域の病院を閉院しなければならないのでしょうか。

行政当局は医師不足を理由にあげています。しかしその背景には、全国で最も医師が少ない新潟県の現状を放置して、医師を増やそうとしない国や県の医療政策があるのではないのでしょうか。

そこで専門家を招いて、国の政策と、県内の地域医療の現状を学びます。どなた様もお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。



## ●地域医療を考える学習会

●日時 3月17日(日)  
13:30~15:30

●会場 直江津学びの交流館  
多目的ホール

●講師 本田 宏先生  
竹島良子さん

**参加費無料**

**本田 宏先生**:外科医、NPO法人医療制度研究会理事長。1979年から36年間外科医として生活、埼玉県済生会栗橋病院外科部長、副院長などを歴任。2015年外科医を引退し、医療と日本再生のための活動に加えて市民活動に積極的に参加して、国民の幅広い連帯をめざしています。

**竹島良子さん**:看護師、長岡赤十字病院看護部長を務め、2007年から2期8年新潟県議会議員。その後、県内の医療政策改善をめざして活躍中です。

主催：上越地域の医療を守る会（代表 石田秀男）

連絡先：080-5542-6601（青木） mail:hiro-111@rainbow.plala.or.jp